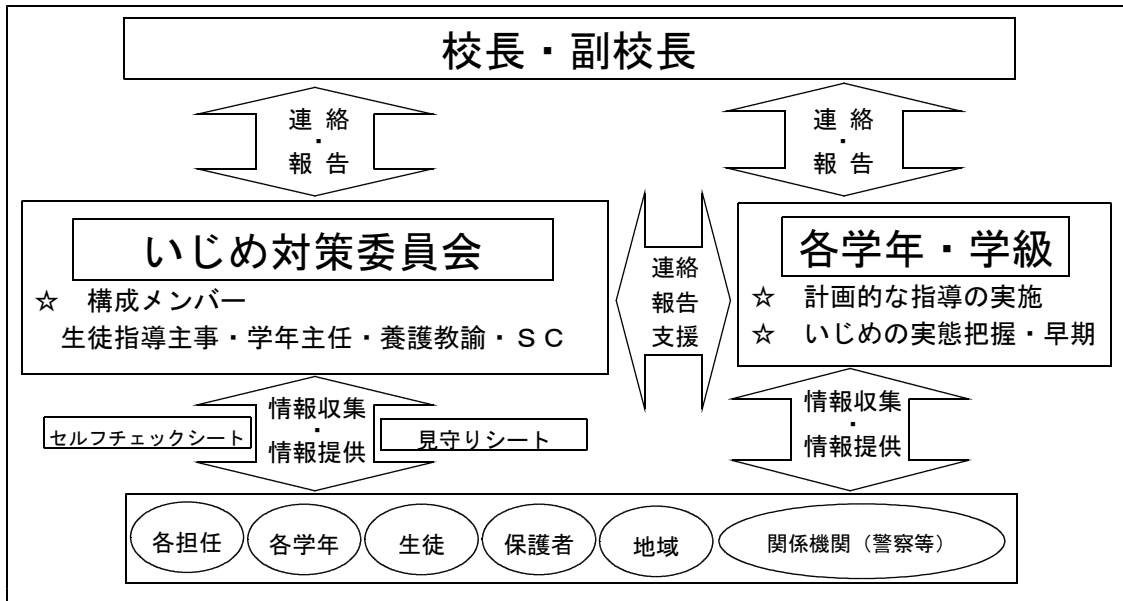


Ⅶ その他

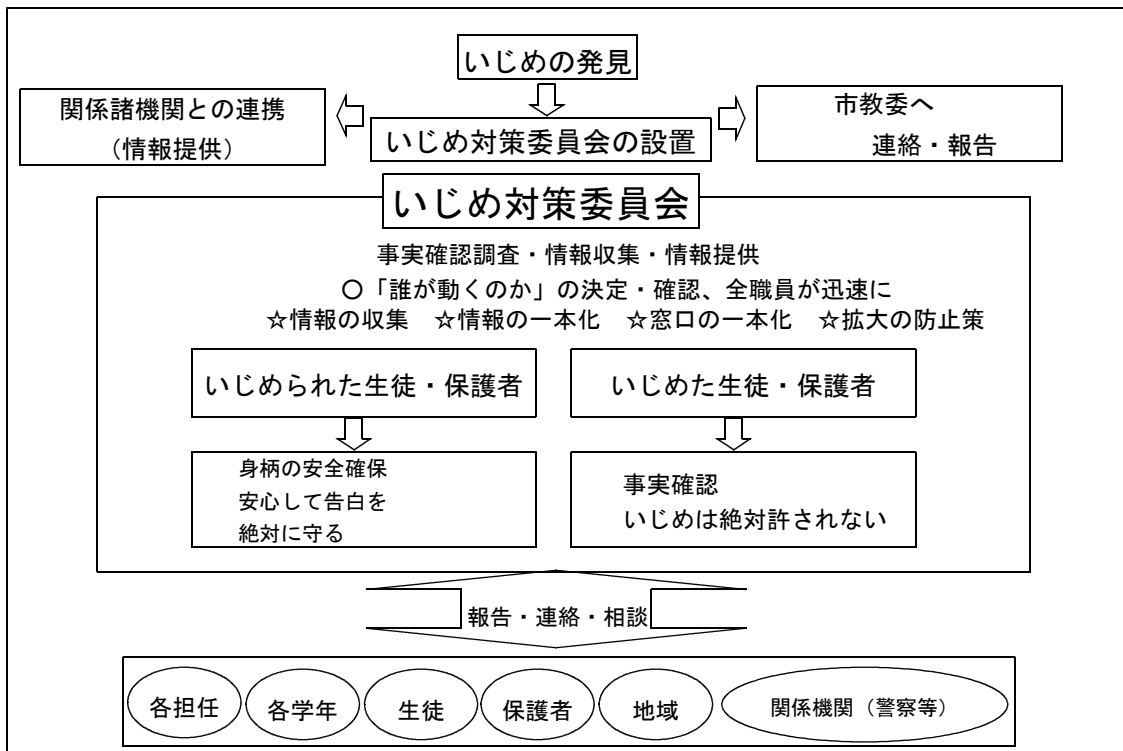
以上の方針に基づき、職員が迅速に行動できるように、図で示す。

1. いじめ防止体制（平常時）



※「いじめ対策委員会」を組織し、いじめ防止のための年間指導計画を組織する。また、どう委員会が保護者や諸機関の窓口となり、日頃から協力体制を構築しておく。

2. いじめ防止体制（いじめ発生時）

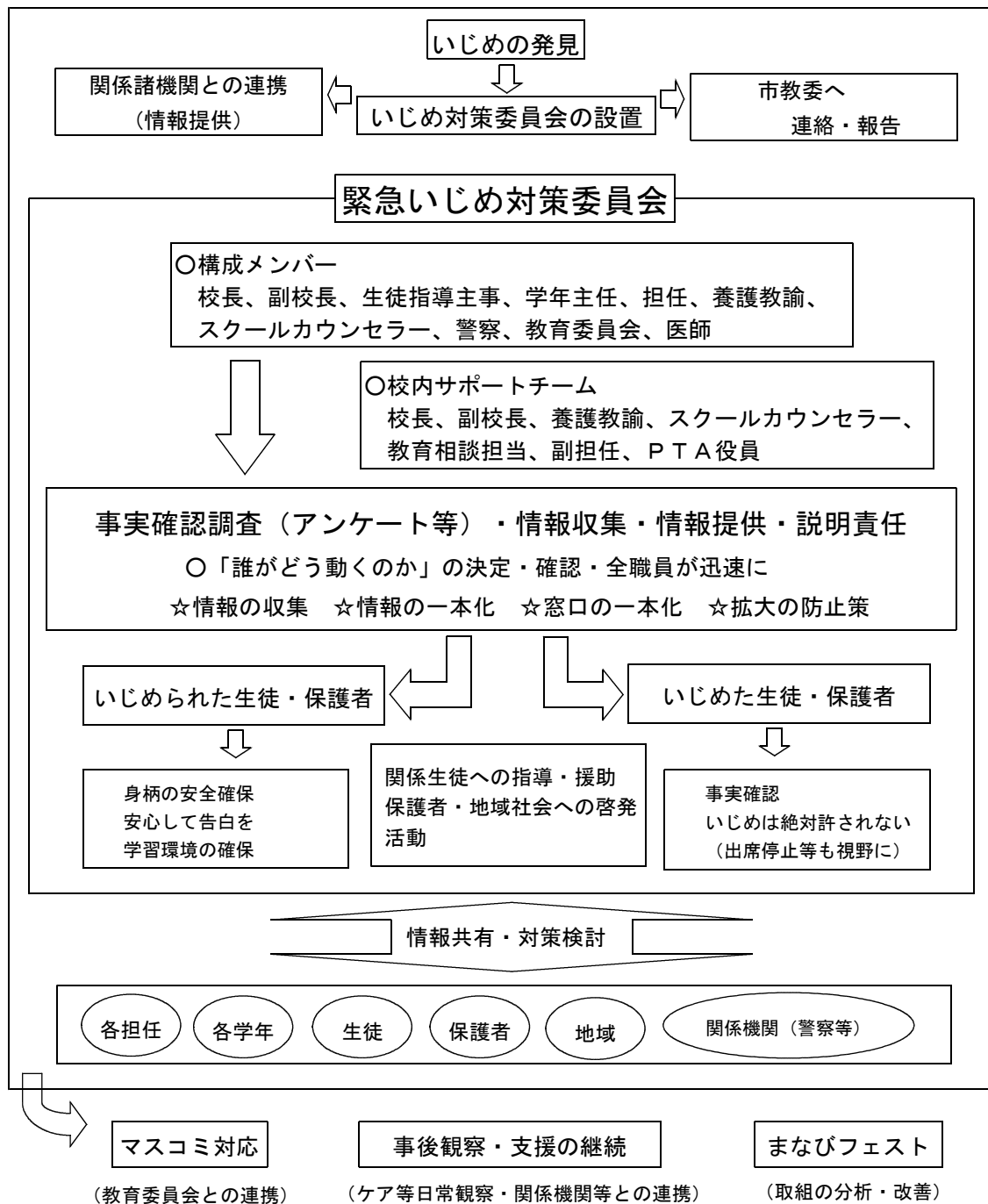


**いじめの解消**  
(継続して情報交換・援助)

**事後観察・支援の継続**  
(日常観察・SC等との連携)

**学校評価**  
(取組の分析・改善)

### 3. いじめ防止体制（重大事態発生時）



※ 重大事態が発生した時点で、緊急いじめ対策委員会を立ちあげ、組織的に対応する。  
同時に、校内サポートチームを立ちあげ、一般生徒等のメンタルヘルス・ケア等を行い、全校生徒の不安を解消させる。